

令和1年度事業報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

公益財団法人 井上育英会

I. 事業の状況

1. 奨学生の選考・奨学金の貸与

(1) 大学別・年次別 学生数・奨学金貸与額 (令和2年3月31日現在)

大 学	採用	年次別学生数(人)						奨学金貸与額(円)		
		6年	5年	4年	3年	2年	計	月 額	留学対応等	年間貸与総額
北 海 道大学	5	1	1	4	4	5	15	448,000		5,376,000
東 北大学	2	1	1	4	3	2	11	324,000		3,888,000
東 京大学	3		3	6	1	1	11	365,000	△20,000	4,360,000
東京工業大学	3			1	2	2	5	160,000		1,920,000
一 橋大学	2			2	3	1	6	195,000	△120,000	2,220,000
名 古 屋大学			1				1	30,000		360,000
京 都大学	2		1	4	1		6	210,000	△105,000	2,415,000
大 阪大学					1		1	35,000		420,000
九 州大学	2	1	1	2	1	2	7	206,000		2,472,000
合 計	19	3	8	23	16	13	63	1,973,000	△245,000	23,431,000

(2) 奨学金貸与月額	自宅	自宅外
東京・近畿	30,000 円	35,000 円
その他の地域	28,000 円	30,000 円

(3) 留学対応等

<留学対応>

令和1年度分前渡済み 1名 △90,000 円 (期中帰国 貸与再開)
令和1年度分貸与休止 1名 △105,000 円

<その他>

月額変更 2名 △50,000 円 (自宅30,000 円 → 自宅外35,000 円)

2. 奨学生に対する勉学、進路等の指導・助言

(1) 月例会等

在京学生に対して、毎月第一水曜日奨学金支給時に学生委員を中心とするOBが夕食を共にし、懇談と指導を行った。各支部でも毎月奨学金支給時に懇談会が行われ、いずれも奨学生の相談が相次ぎ進路等について適確なアドバイスを与えた。

また季節の例会として、初夏例会(6月14「セキュリティを考える」三菱重工業(株) 溝上栄美氏)、秋季例会(11月22日「真のZ Eに向けて-CO2は本当に悪者?」(株)本田技術研究所 窪田隆一氏)、新年例会(1月17日)を開催。いずれも学生とOB会員ら数十人が集い、講演と懇談で啓発の実をあげた。支部においても、近畿(11月)、東北(1月)、九州(1月)などでそれぞれ行われた。

(2) 卒業祝賀行事

3月7日および8日に開催が予定されていた卒業祝賀行事(祝賀前夜祭、卒業祝賀会、全国奨学生交流会)は、新型コロナウイルス感染拡大のため、すべて中止となった。

(3) 新奨学生歓迎行事等

首都圏在住の新奨学生を歓迎するバス旅行が7月6・7の両日に行われた。新奨学生と先輩の学生・院生・OBらが参加、蓼科・美ヶ原高原・木曾路奈良井宿を訪ねる旅を楽しんだ。北海道・東北の各支部でも歓迎会・一泊旅行等が行われた。

(4) 会誌の発行等

会誌「新桜菱」第250号(R1.5) 第251号(R1.9) 第252号(R1.12) 第253号(R2.2)
令和1年9月会誌「新桜菱」に関するアンケートを実施し、結果について第253号に掲載した。

3. 育英資金の募金

本年度は延べ148人の方から応募があり、醸金総額は2,450,000円であった。

II. 附属明細書

事業における重要な事項は令和1年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無いため、当年度の附属明細書は作成しない。